

「互いの尊重と協働のもと、しなやかさを持ち、存在感のある校長会」を目指して

佐賀県小中学校校長会

会長 有馬 ゆかり

今年度会長として御承認いただきました、みやき町立三根中学校 有馬 ゆかり です。

今回、65年の歴史ある佐賀県小中学校校長会会長の大役を仰せつかりました。私では力不足ですが、牟田 禎一 前会長の意を引き継いで本会の目的を達成し、本県教育のさらなる振興・発展に向けて任を果たしてまいりたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

近年、予測できない災害や新型コロナウイルス感染症など未知の課題等に見舞われることが多く、そのような中で子どもたちを守り、学びを止めないためにはどうすればよいか、という場面に迫られます。

また、グローバル化や少子高齢化、人工知能（AI）の急速な発展など、社会は大きく変化し複雑なものとなっています。このような社会で生きていく子どもたちに、未来を切り拓いていく力を育成していく教育が求められています。

そして、私たち校長は、学校経営において「学力向上」、「いじめや不登校等の諸課題」、「特別支援教育の充実」、「GIGA スクール構想の推進」、「働き方改革」などの課題解決に向けた取組を進めなければなりません。

当面する課題や子どもたちの未来を見すえ、学校経営を行っていくことは大変なことです。だからこそ、この佐賀県小中学校校長会は存在していると考えています。

今年度の本校長会のスローガンは、昨年度に引き続き

「互いの尊重と協働のもと、しなやかさを持ち、存在感のある校長会」としています。

校長は、判断と決断の連続です。内容の軽重にかかわらず、最終決断をするときは孤独を感じます。校長は、その孤独に耐えなければならないと思っておりますが、孤立をしてはいけません。校長同士が信頼関係のもと、情報共有をしたり課題に取り組んだりすることが、各学校経営において有意義なものをもたらすと思います。それが、スローガンの「互いの尊重と協働」という部分です。

そして、柔軟な見方・考え方で、子どもたちにとって、学校にとっての最善を求め取り組んでいくという「しなやかさ」をもち、信念に基づき、本質を見極め、先を見通した判断力と実行力を私たちがもてるよう地区や県の校長会で議論し活動することで、「存在感のある校長会」を目指したいと思っております。

特に、今年8月に開催される「九小協佐賀大会」に向けて、佐賀県小中学校校長会が一体となって力を合わせる必要があります。

本年度新しく44名の校長先生方を迎えた231名で、ともに教育課題に真摯に向き合い、前進していきたいと考えております。1年間、どうぞよろしく願いいたします。